

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年12月19日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから12月19日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

まず、明日、水曜日、12月20日ですけれども、10時半から12時まで第54回「原子力規制委員会」が開催されます。

議題は3つです。

議題の1は「原子力規制委員会と東京電力ホールディングス株式会社経営層による意見交換」です。

12月6日に柏崎刈羽原子力発電所の追加検査、それから、適格性の確認の結果を事務局として取りまとめて委員会に報告しております。それを踏まえまして、11日には山中委員長と伴委員が柏崎刈羽原子力発電所の現地調査を行っております。

明日は、東京電力の小早川社長との意見交換が委員会で行われる予定となっております。前回13日の定例会での議論を踏まえますと、委員会では、社長のほうに、不適正事案が起きてからの3年間についての社長としての総括、基本姿勢7項目に係る取組、福島第一原子力発電所の廃炉の推進、人がかわっても安全を継続的に担保していく方策や今後の取組への意気込みなどを伺うことになると思います。

議題の2は「日本原子力発電株式会社東海第二発電所の発電用原子炉設置変更許可（発電用原子炉施設の変更）－標準応答スペクトルを考慮した基準地震動の追加等－」です。

東海第二発電所については、標準応答スペクトルを考慮して基準地震動を追加する設置変更許可申請が令和3年6月25日に提出されております。原子力規制庁は、本件について、11月22日に審査結果の案を委員会に報告しております。その後、原子力委員会及び経済産業大臣の意見聴取の手続きを行っており、その回答があったことから、明日、最終的な審査結果の取りまとめと設置変更許可処分について委員会に諮るものとなっております。

議題の3は「九州電力株式会社川内原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書（1号及び2号発電用原子炉施設の変更）及び玄海原子力発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書（3号及び4号発電用原子炉施設の変更）」に関する審査の結果の案の取りまと

めー標準応答スペクトルを考慮した基準地震動の追加等ー」です。

川内原子力発電所と玄海原子力発電所についても、標準応答スペクトルを考慮して基準地震動を追加する設置変更許可申請が行われております。川内については令和3年4月26日、玄海については令和3年8月23日に申請が提出されております。これらについて審査結果の案が取りまとめられたことから、今回、その審査結果の案について委員会に諮り、原子力委員会や経済産業大臣への意見聴取、科学的・技術的意見の募集の実施についてお諮りするというものでございます。

また、同日夕刻、16時から17時にかけて第55回「原子力規制委員会臨時会」が開かれます。

議題は「放射線審議会委員の選考」です。

様々な放射線障害防止の技術基準を整合性をとって定めるための審議を担っている放射線審議会については、現在15人の委員で構成されております。委員の任期は2年となっておりまして、令和6年4月に9名の委員の任期が満了する予定となっております。そのため、新たな委員の選考について委員会に諮るものとなっております。委員の選考に係るものでございますので、この臨時会議については非公開で行われる予定となっております。

次に「審査会合、会計などについて」の案件としては、10番目の案件、12月25日に第41回「東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会」が開催されます。

議題の1は「1号機及び3号機の事故初期高線量率の原因推定について」です。

本件については、これまで3月11日の夜に高線量の放射線が観測されたことを踏まえまして、漏えい箇所の特等について議論が行われてきましたが、今回は、様々な原子炉で、短期間にどのような場合に原子炉の外で高線量の放射線が観測されるというような事象があるのかということについての情報整理が行われるということとなっております。

議題の2は「2号機X-6ペネで確認された堆積物に対する分析状況」です。

議題の2では、様々な物が堆積していることが確認されている2号炉のペネトレーションについて、2021年にJAEA（日本原子力研究開発機構）が遠隔で採取した試料の分析結果をもとに堆積物が何かということ推定するため、分析の状況について議論が行われるという予定となっております。

議題の3は「モニタリングポスト等の空間線量率データ等の分析について」です。

本件については、事故当時のモニタリングポストの空間線量率のデータを分析し、原子炉の挙動を推計するという取組を行っております。今回はその分析について話し合われる予定となっております。どのようなプルームモデルを想定して分析するかなど、分析の基本的な前提条件についての議論が行われる予定となっております。

議題の4は「SGTS（非常用ガス処理系）配管に対する測定状況」です。

ここでは、現在解体中の非常用ガス処理系の配管の汚染の把握の状況が共有される予定となっております。

本日の案件は以上でございます。

#### <質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—